

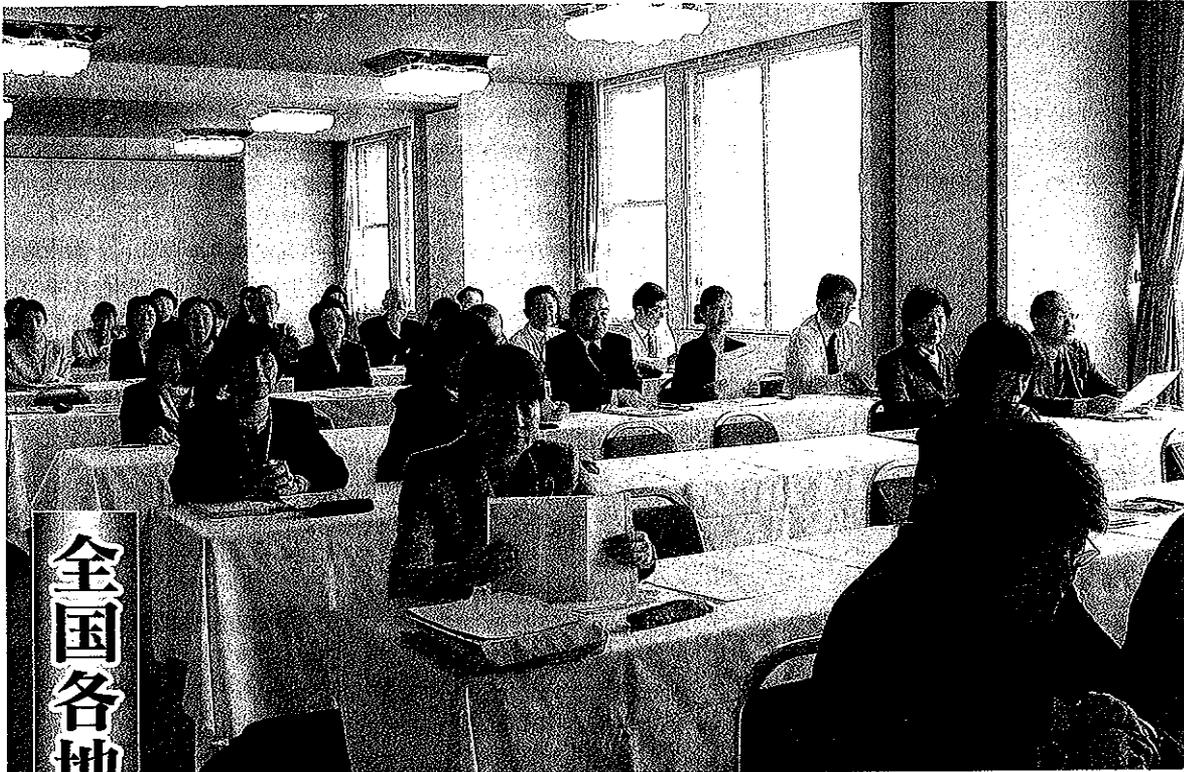
# 日本ビジネス 実務学会 会報

2005年4月30日

NO. 42

発行  
日本ビジネス実務学会

事務局 〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町1300 高崎経済大学気付 TEL・FAX 027-344-7587 E-mail tsuboaki@tcue.ac.jp URL: <http://www.b-jitsumu.com/>



全国各地で盛り上がった活動報告

2004年度ブロンク研究会を開催



# 北海道ブロック

平成16年度ブロック研究会は2005年1月30日(日)、札幌国際大学経済センターキャンパスを会場に開催された。第1部は本学会初の試みとして会員校の学生によるプレゼンテーションコンテストを実施、第2部では2件の研究報告が行われた。プレゼンテーションコンテストへの関心の高さから参加者の幅が広がり、ビジターを含めた20名の参加者に加え、数名の学生の参観もあって活気ある研究会となった。

## ① 第1部 プレゼンテーションコンテスト

5組6名の学生が参加し、「私の大学生活」をテーマにパワーポイントを活用した5分間のプレゼンテーションを行い、日頃の学習・指導の成果が披露された。それぞれの学生が入念な準備のもと意欲的に参加し、心打たれる発表が多く、いずれも優秀をつけがたいものであった。審査結果は以下のとおりとなり、順位によって賞品が授与された。翌日の北海道新聞朝刊でコンテストの様子が写真入りで紹介された。

### 第1位

村瀬有香さん(専門学校日本ビジネススクール1年)  
「私にとっての高等教育とは何か」

### 第2位

川崎沙織さん・杉亜利紗さん(札幌国際大学短期大学部1年)  
「私の大学教育～コミュニケーション力を磨く」

### 第3位

永野悠斗さん(札幌国際大学社会学科3年)  
「私の大学生活～人前で話すこと」

## ② 第2部 研究発表

### (1) 「国際の場でのビジネス考察—青年の意識を参考にして」

佐藤 充子氏(札幌大学女子短期大学部  
経営学科秘書専攻非常勤講師)  
日本の青年が国際ビジネスの社会で活躍するために留意しておくべきことを、ご自身の米国でのビジネス経験の中からいくつかの事例をあげて紹介された。米国のビジネス現場では、日

本以上にポジティブな意思表示が求められることや、ブランドやロゴによる組織アイデンティティ浸透と国際ビジネスマネー理解の重要性等について語られた。

### (2) 「大学発企業ビジネスと実務教育」

北崎 寛氏(札幌国際大学社会学部ビジネス社会学科教授)  
昨年、北崎氏自身が代表取締役となり、学生を人材登録させる形で起業した「株式会社 創育社」の概要と事業理念および、教育的意義についての発表がなされた。

地域支援事業を中心にリサーチ等の業務を受注して事業展開されているとのことである。学生を社員として動かす際の運営・管理体制上の難しさや地域支援業務の利益率の低さ等が課題として挙げられたが、学生たちにとってのビジネス実践の場としての有用性が示唆される興味深い内容であった。

## ③ 情報交換会

今年度初の試みとして実施した学生によるプレゼンテーションコンテストを、ブロック研究会開催時期に合わせて次年度以降も継続して行うことを中川ブロックリーダーより提案があり、満場一致の賛同を得て決定された。

今回実施の反省点を踏まえ、テーマの設定や評価基準等について会員から改善案を募り、実施要領を整えた上で、将来的には全国の大学・短大・専門学校学生によるコンテストへと発展させていきたい旨の希望が出された。

なお、研究会終了後、会場を移して懇親会が行われた。

(和田佳子 記)

# 関東・東北ブロック

平成16年度の関東・東北ブロック研究会は、昨年同様、リーダーの武田秀子ほか18名の運営委員で運営を行った。年間を通して3回の運営委員会を開催し、各委員は「共同研究委員会」と「ブロック研究委員会」の2つの小委員会に分かれ、それぞれ企画・立案・実施に向けて活動した。その結果、次のような成果を挙げることができた。

「共同研究委員会」では、「関東・東北ブロック研究会助成共同研究」対象の研究が1年以上の継続申請をする場合には、申請者は中間報告書を作成し、継続申請書と共に「共同研究委員会」に提出する、こととした。その結果、2004年度～2005年度(平成16年度～17年度)の研究助成共同研究は前年度に引き続き次の2つの研究が申請され、採択された。

### ●研究テーマ 「パソコンを活用した日本語表現の教材開発」

研究代表 三村 善美

### ●研究テーマ 「フォローアップ研究」

研究代表 高橋真知子

「ブロック研究委員会」は、第32回関東・東北ブロック研究会の統一テーマを「キャリアデザインとビジネス実務教育」とし、平成17年2月26日(土)に東京商工会議所ビルにおいて開催し、約55名の参加者があった。今研究会の特徴は従来の基調講演を省き、その代替えとして共同研究の報告に時間を割き、会員の共同研究参加への意欲を高めようとしたことであった。参加者の熱心な質疑応答があり、とくにテーマ「キャリアデザインを考える」

のグループ討議では熱気あふれる討論がみられた。研究会プログラムの内容は次のようなものであった。

### 午前の部

- ・関東・東北ブロック研究会総会
- ・共同研究発表「パソコンを活用した日本語表現教育の開発」  
三村善美・牛島倫子・石井典子・岡田小夜子・今井克佳
- ・共同研究発表「フォローアップ育成マネジメント」  
高橋真知子・小籠和子・内藤英俊・大島 武
- ・共同研究発表「キャリアデザイン支援に関する教授法開発」  
山口憲二・小籠和子・大宮 登・眞保智子・大宮智江・坪井明彦

### 午後の部

#### 個人研究発表

- ・「キータッチ教育の重要性」 石井 典子
- ・「辞儀と魅力行動」 古閑 博美
- ・「簿記教育をめぐる問題とその改善にむけて」 長谷川美千留



# 中国・四国ブロック

中国四国ブロックにおいては、中国四国地域の特色を十分に踏まえ、多様なビジネス実務研究の展開を模索しつつ、ブロックの研究推進を行なっております。本年度のブロック運営委員会は、6月5日四天王寺国際仏教大学、9月11日四国大学交流プラザにおいて2回の委員会をおこない、ブロック研究会、会報の発行、共同研究の推進などについて検討をおこなった。また、昨年のJACB委託研究「大学における実務教育分野における社会的ニーズについて -これから必要とされる資格の分析-」に引き続き、教授法研究助成「キャリア形成とインターンシップ」について、篠原先生を中心に、共同研究をおこなった。

今年のブロック研究会も例年と同じく秋の大会となりました。四国大学短期大学部の松永先生及び徳島地区の会員各位のお世話により、徳島の駅の直ぐ前にある四国大学交流プラザをお借りして9月11日・12日の1泊2日開催され、9件の研究発表がおこなわれ、盛会のうちに閉会となりました。

ブロック研究会に先立ち、総会が行なわれ、2003年度事業報告及び会計報告、2004年度事業計画及び予算が提案され、原案どおり承認された。また、ブロック研究推進を推進するための、ブロックでの共同研究助成が、利用されていないため、会員に共同研究の呼びかけをおこなった。この成果もあり、本年度は、松山東雲短期大学より、共同研究の申請が行われた。また、役員改正の問題について、協議され、役員・評議員選考委員として、広島国

際大学の久次弘子先生が推薦された。また、次年度がブロック運営委員の改選の年にあたることから、運営委員の選出については、現運営委員が候補者推薦することとなった。

ブロック研究会においては、2日に亘り、熱心な発表がおこなわれた。今回は、教育開発1件、授業実践の報告が4件、調査研究が4件となった。調査については、地域の特性を踏まえた、継続的な報告が2件おこなわれ、時系列での比較研究に期待がよせられた。授業実践の報告は、具体的事例が多く、参加者が授業に適応できる内容であった。全般に、多様化する学生に対する魅力的教授法やコミュニケーション能力育成、職業支援などの、高等教育現場における現代的課題に対しての、解決の糸口を紐解く内容であった。

研究会終了後の恒例になっている懇親会においては、発表に対する意見やアドバイス、教育現場での日頃の問題や悩みなどを、会員相互に語り合い親睦の和を深めることとなった。

今後の中国四国ブロックの活動においては、本務校における仕事の増加や多様な学生に対する対応などにより、時間に余裕が無い状況ではあるが、より魅力的な研究活動が行えるよう、ブロック研究会に加え、共同研究などを軸に、会員相互の研究活動の推進を行なう予定である。また、近畿や九州などの隣接ブロックとの共同事業の実施、広域での共同研究、実務家との協力など、様々な可能性を考え有効的な研究が行なえるよう努力を行いたいと考えるしだいです。(佃昌道 記)

# 九州・沖縄ブロック

## ① ブロックの運営動向

2004年度の九州・沖縄ブロック研究会は、鹿児島市および福岡市において例年通り2回開催された。概略は下記のとおりである。研究会当日開催の運営委員会において、前年度の活動報告、会

計報告、今年度の活動状況、来年度の事業計画が審議承認された。また、今年度は運営委員の一部改選期に当たるので数名の方に交替をお願いした。

運営委員会の後、研究会会場にて上記の提案、計画等の議案が提出され承認された。

## ② 研究会活動

### 第36回 研究会

期 日：2004年10月16日(土)  
会 場：鹿児島商工会議所(鹿児島市)  
出席者：15名

#### 研究発表

- ・「経営の在り方の一考察-戦略の前提要素を中心に-」  
発表者 弓削 忠史(九州共立大学)  
座 長 山本 浩貴(東筑紫短期大学)
- ・「企業の社会的責任(CSR)推進能力育成の重要性」  
発表者 大重 康雄(鹿児島女子短期大学)  
座 長 杉原 英夫(九州共立大学)
- ・「少子化対策に関する一考察」  
発表者 北原 康司(釜山女子大学)  
座 長 木原すみ子(九州龍谷短期大学)
- ・「イノベーションにおけるチーム制の一考察(その1)」  
発表者 白川美知子(九州共立大学)  
座 長 有馬 恵子(鹿児島女子短期大学)
- ・「キャリアとビジネス教育について」  
発表者 坂本 一登(福岡女子短期大学)  
座 長 中村美代子(活水女子大学)

### 第37回 研究会

期 日：2005年2月19日(土)  
会 場：電気ビル(福岡市)  
出席者：15名

#### 研究発表

- ・「所謂、ODAに関する一考察」  
発表者 北原 康司(釜山女子大学)  
座 長 中村美代子(活水女子大学)
- ・「女子短大生へのキャリア教育について」  
発表者 江藤智佐子(筑紫女学園短期大学)  
座 長 白川美知子(九州共立大学)
- ・「学生の情報検索過程における意識と行動について」  
発表者 木原すみ子(九州龍谷短期大学)  
座 長 山本 浩貴(東筑紫短期大学)
- ・「キャリアデザインと教育内容について」  
発表者 坂本 一登(福岡女子短期大学)  
座 長 藤村やよい(久留米信愛大学院短期大学)

第36回の研究会は、鹿児島女子短期大学の有馬恵子、黒岩干尋、大重康雄、有馬利加子諸先生方のお世話により鹿児島商工会議所での開催となり、午後から夜まで盛りだくさんの内容となった。研究発表、懇親会における教育・研究についての情報交換、参加者の近況報告等々、参加者相互の親睦を深め盛会のうちに無事すべてのプログラムを終了した。(坂本一登 記)

# 研究発表一覧

趣意書に掲載されている研究区分によりまとめてあります

## 1 ビジネス実務の教育開発研究

### 1) ビジネス実務プログラム開発と教材開発プログラム

- 「『好きなことマップ』を利用したコミュニケーションの試み」  
笹瀬佐代子(浜松学院大学)
- 「『永平清規』から学ぶ秘書の心と作法」  
川西 洋子(東海大学短期大学部)
- 「ビジネスコミュニケーション—コミュニケーションドキュメントに関する情報リテラシー教育の一考察—」  
川端 淑子(山陽学園大学)

### 2) 授業方法の研究

- 「キータッチ教育の重要性」石井 典子(東京経営短期大学)
- 「辞儀と魅力行動」古閑 博美(嘉悦大学短期大学部)
- 「簿記教育をめぐる問題とその改善に向けて」  
長谷川美千留(青山学院大学)
- 「実務教育における学外教育の実践とその課題」  
野添 雅義(高山短期大学)
- 「クイズ(問題)作成を利用した実務(秘書)教育の効果」  
宮本トシヨ(長岡大学)
- 「家庭内におけるe-learning環境構築における考察」  
佐久間 潔 尾上 恵子(一宮女子短期大学)

- 「ビジネス教養系検定を活用した授業の実施と学習意欲との関連について」  
國田千恵子・梶山 亮子(金城大学短期大学部)

- 「デジタルノートを使ったビジネス実務教育の開発」  
梅村 信夫(名古屋学芸大学短期大学部)  
金田 桜子(富山短期大学)  
山本 恵(名古屋学芸大学短期大学部)  
西川三恵子(名古屋経営短期大学)  
橋本 朕(富山短期大学)
- 「基礎学力と検定試験の関連性」  
宮内 海司(岩国短期大学)
- 「就職支援と実務教育の連携について」  
若原 節子(岡山学院大学)
- 「IT関連科目における新たな試みに関する研究」  
森 靖之(高松短期大学)
- 「ふつうの人がふつうの人に教えるデザインレイアウト」  
原 和陽(作陽短期大学)
- 「女子短大生へのキャリア教育について」  
江藤智佐子(筑紫女学園短期大学)
- 「学生の情報検索過程における意識と行動について」  
木原すみ子(九州龍谷短期大学)

## 2 ビジネス実務の調査・研究

### 1) ビジネス環境と実務

- 「国際の場でのビジネス—考察—青年の意識を参考にしして」  
佐藤 充子(札幌大学女子短期大学部)
- 「ビジネス実務の現場」—ビジネス実務と女性のキャリア—  
島本みどり(東邦学園短期大学)  
掛笠 真巳(富士ゼロックス株式会社)  
大津 洋子(名古屋学芸大学短期大学部)  
西山テルミ(伊藤忠商事株式会社)  
水口美知子(名古屋経済大学短期大学部)  
藤戸 京子(名古屋学芸大学短期大学部)  
水谷 慶子(名古屋短期大学)  
西川三恵子(名古屋経営短期大学)  
朱宮 裕子(ニチハ株式会社)  
清水たま子(愛知江南短期大学)  
笹瀬佐代子(浜松学院大学短期大学部)  
梶山 尚子(静岡大学)
- 「情報社会における『情報の貧困』—Informationとexformationの観点から—」  
河原 和英(大阪樟蔭大)
- 「インターンシップの多様化—各種現場体験実習制度とインターンシップの概念の整理—」 仁平 征次(関西国際大)
- 「マーケット イン インターンシップ」  
磯林 征一(園田学園短大)
- 「『さまよえる若者』欠かせない多面的な支援—岡山県の若者就職支援の実態より—」  
粟井 謙甫((社)岡山県雇用開発協会)
- 「経営の在り方の一考察—戦略の前提要素を中心にしして—」  
弓削 忠史(九州共立大学)

- 「企業の社会的責任(CSR)推進能力育成の重要性」  
大重 康雄(鹿児島女子短期大学)
- 「少子化対策に関する一考察」 北原 康司(金山女子大学)
- 「イノベーションにおけるチーム制の一考察(その1)」  
白川美知子(九州共立大学)
- 「所謂、ODAに関する一考察」 北原 康司(金山女子大学)
- 2) 時代を切り拓くビジネス実務
- 「大学発企業ビジネスと実務教育」  
北崎 寛(札幌国際大学)
- 「ポジティブアクション推進の現状と課題」  
篠原 収(広島女学院大学)
- 3) 個人とチームの実務能力の開発
- 「短期大学生のキャリア意識〜キャリア関連授業にみる現状と方策」 飯塚 順一(産能短期大学)
- 「高等学校におけるキャリア支援教育について—『総合的な学習の時間』を通して—」  
鈴木 和也(山梨県立塩山高等学校)
- 「起業家マインドを育て、行動を起こさせる授業の一考察」  
川口 直子 寺島 雅隆(名古屋文化短期大学)
- 「特色ある大学教育支援プログラム採択事例報告『キャンパス内におけるキャリア教育〜意識変容への挑戦〜』」  
岡野絹枝(金城大学短期大学部)
- 「女性のキャリア・デザインと就業継続—ノルウェーの働く女性の実情から—」 石田 絢子(京都学園大)
- 「言葉づかいに関する意識調査」  
松永満佐子(四国大学短期大学部)
- 「インターンシップ経験が職業意識形成に与える効果について(2)」 桐木 陽子・郡司島宏美(松山東雲短期大学)
- 「キャリアとビジネス教育について」  
坂本 一登(福岡女子短期大学)

# 2004年度 ブロックリーダー・サブリーダーおよび運営委員

◎リーダー ○サブリーダー  
敬称略

## 【北海道】

- ◎中川 昌代 <道都大学>
- 橋 明美 <國學院短期大学>
- 大塚 映 <札幌医療秘書福祉専門学校>
- 北崎 寛 <札幌国際大学>
- 丹治 和典 <札幌国際大学>
- 和田 佳子 <北海道武蔵女子短期大学>

## 【関東・東北】

- ◎武田 秀子 <高崎商科大学短期大学部>
  - 天野 恒男 <東京家政学院大学>
  - 大島 武 <東京工芸大学>
  - 植竹由美子 <仙台白百合女子大学>
  - 牛島 倫子 <鶴見大学短期大学部>
  - 大宮 智江 <高崎商科大学短期大学部>
  - 岡田小夜子 <高崎商科大学短期大学部>
  - 北垣日出子 <日本橋学館大学>
  - 小籠 和子 <(株)ライトマネジメント  
コンサルタンツ ジャパン>
  - 古閑 博美 <嘉悦大学短期大学部>
  - 佐藤美津子 <湘南国際女子短期大学部>
  - 芝原 脩次 <WAKUWAKU ヒューマンカンパニー  
オフィス しばはら>
  - 眞保 智子 <高崎健康福祉大学短期大学部>
  - 堤 幸男 <日本テレワーク協会>
  - 坪井 明彦 <高崎経済大学>
  - 畠田 幸恵 <神奈川歯科大学湘南短期大学>
  - 高橋眞知子 <常磐大学短期大学部>
  - 山口 憲二 <新島学園短期大学>
  - 渡辺 裕一 <産能短期大学>
- ## 【中部】
- ◎中村 健壽 <静岡文化芸術大学>
  - 北瀧 克輔 <金沢星稜大学>
  - 吉田 寛治 <金沢学院大学>
  - 眞弓 徳光 <高田短期大学>
  - 鎌田 和江 <名古屋学芸大学短期大学部>
  - 岡野 絹枝 <金城大学短期大学部>
  - 清水たま子 <愛知江南短期大学>

- 川口 直子 <名古屋文化短期大学>
- 一柳 達幸 <秘書学研究会>
- 戸田 昭直 <浜松学院大学>
- 福岡 欣治 <静岡文化芸術大学>
- 越原洋二郎 <名古屋女子大学>

## 【近畿】

- ◎仁平 征次 <関西国際大>
- 石田 絢子 <京都学園大>
- 足塚 智志 <大阪女子短大>
- 有働 寿恵 <梅花短大>
- 河原 和英 <大阪樟蔭大>
- 杉田 乾伍 <姫路日ノ本短大>
- 塚原 昭人 <四天王寺国際仏教大>
- 水原 道子 <大手前短大>
- 油谷 純子 <関西国際短大>

## 【中国・四国】

- ◎佃 昌道 <高松短期大学>
- 桐木 陽子 <松山東雲短期大学>
- 岡部 瑞穂 <岡山女子短期大学>
- 樋口 紀子 <梅光学院大学>
- 須藤 芳正 <川崎医療福祉大学>
- 曾根 康仁 <(有)リスビー21環境開発研究所>
- 久次 弘子 <広島国際大学>
- 松永満佐子 <四国大学短期大学部>
- 関 由佳利 <高松短期大学>

## 【九州・沖縄】

### 運営委員

- ◎坂本 一登 <福岡女子短期大学>
- 白川美知子 <九州共立大学>
- 木原すみ子 <九州龍谷短期大学>
- 杉原 英夫 <九州共立大学>
- 中村美代子 <活水女子大学>
- 大城 智美 <沖縄女性研究者の会>
- 藤村やよい <久留米信愛女子学院短期大学>
- 山本 浩貴 <東筑紫短期大学>

### 監事

- 花崎 正子 <東筑紫短期大学>

## 2004年度 新入会員 (2003年8月23日～2004年8月21日) 敬称略・50音順

- 今井 克佳 <東洋学園大学>
- 大重 康雄 <鹿児島女子短期大学>
- 大野 邦夫 <ドコモ・システムズ株式会社>
- 大場みち子 <(株)日立製作所>
- 馬田 拓治 <トレンドマイクロ株式会社>
- 奥村 実樹 <金沢星稜大学>
- 尾上 恵子 <一宮女子短期大学>
- 池田由美子 <池田人材育成センター>
- 伊東 恵子 <九州国際情報ビジネス専門学校>
- 鎌本 京子 <樟蔭東女子短期大学>
- 河野 篤 <中部学院大学短期大学部>
- 小西俊二郎 <フール学院大学短期大学部>
- 小松 由美 <福島学院大学短期大学部>
- 塩崎 英明 <安田女子短期大学>

- 寺島 雅隆 <名古屋文化短期大学>
- 長谷川美千留 <青山学院大学 非常勤講師>
- 堀田 祐資 <愛知県立一宮商業高等学校>
- 松尾 裕子 <C.C.F (キャリア・コンサルティング・フォーラム)>
- 松田 幸子 <YOU企画 代表>
- 松村 卓司 <(株)パソナ>
- 森 靖之 <高松短期大学>
- 山本 恵 <名古屋学芸大学短期大学部>
- 芳田 茂樹 <大手前大学>
- 吉田 千代 <札幌ソフトウェア専門学校>

## 訃報

刈田 綏先生 (顧問) 2005年4月7日ご逝去  
心よりご冥福をお祈りいたします。